

医学科長退任のご挨拶

4年間を振り返って

琉球大学大学院医学研究科人体解剖学講座 教授 石田 肇



同窓会の皆様、いつもお世話になっております。このたびは、4年間の医学科長生活を無事(?)に終えることが出来ました。須加原一博前医学部長（現理事）、松下正之医学部長に迷惑をかけながらの4年間でした。

1年目は教務委員長、医学教育企画室長を兼務しながら、入試委員長も努めました。その時期に、卒業試験を5年生から6年生にかけて、総合試験を導入することを決める等のため、何度も医学科運営会議を開催したことを記憶しています。教務面は、高山千利教授（現医学科長）に引き継ぎ、医師国家試験合格率が急速に上昇したことは記憶に新しいかと思います。医学教育企画室も選任教員を配置することが出来ました。今後、ますます、琉球大学医学部医学科の教育が発展するものと思います。

入試面では、地域枠の拡充、さらに離島・北部枠の導入等、概算要求を含めて、定員増を図りました。地域枠も1期生が卒業し、同窓会のメンバーとなられたことをうれしく思っています。入試説明会では、県内各地を回り、また、東京にも出向き、受験生を増やす努力をしましたが、やはり、予備校の力は大きく、1大学医学部ではどうしても

ないところです。これからも宝探しをしていきたいと思えます。

研究面では、医学科をゆるがした研究等不正の処理をしてきましたが、どうも大きな組織は保身に走る傾向があり、皆様のご期待に沿うことが出来ずに終わりました。今後も成り行きを見守って行きたいと思えます。

この4月からは、また、副医学部長（基礎研究・教育・移転担当）として、医学科ならびに医学研究科のために尽くす所存です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

